

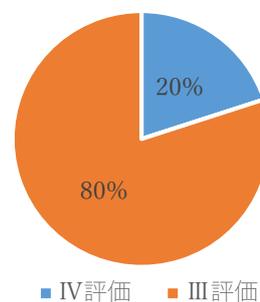
1 本自己点検・評価書（ダイジェスト版）について

本学では、年度計画を毎年度策定し、学校教育法第 109 条第 1 項（自己点検・評価）に定められている自己点検・評価として、評価委員会が年間を通して「国立大学法人兵庫教育大学点検・評価規程」、「兵庫教育大学自己点検・評価実施要項」に基づき計画の進捗状況を評価しています。

本自己点検・評価書（ダイジェスト版）は自己点検の結果のうち重要な内容について分かりやすく取りまとめ、本学の教育・研究・社会連携に関する情報を積極的に地域・社会に説明するものです。

2 自己評価結果の概要

平成 30 年度は、70 の年度計画を設定して実施しました。それぞれについて 4 段階（Ⅳ：年度計画を上回って実施している。Ⅲ：年度計画を十分に実施している。Ⅱ：年度計画を十分には実施していない。Ⅰ：年度計画を実施していない。）で評価を行いました。14 の年度計画でⅣ評価、56 の年度計画でⅢ評価となり、Ⅰ、Ⅱの評価はありませんでした。順調に年度計画を実施していると考えられます。

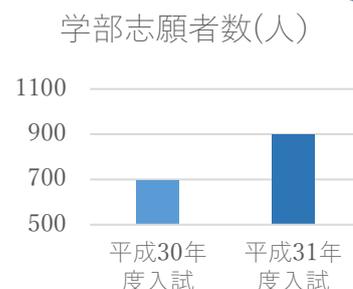


年度計画の自己点検結果
（全 70 計画）

3 特筆すべき年度計画の取組（Ⅳ評価の取組の一例）

① 学士課程の入学者選抜に関する計画（年度計画 18）

すべての選抜試験において面接試験を行い、実技検査を廃止する等の学部の入試改革を行い、平成 31 年度入試の志願者数が延べ 899 人となり前年度から 205 人増加し、前年度比 1.3 倍となる成果をあげました。



② グローバル化に関する計画（年度計画 35 及び 36）

計画において 32 人としていたところを大きく上回って外国人留学生 60 人の受入れを行いました。計画において 1 件以上としていたところを大きく上回って、3 大学と大学間交流協定を締結し、学生の海外派遣を行いました。



交流協定校（ベトナム）での交流の様子

③ 附属図書館に関する計画（年度計画 40）

図書館と教材文化資料館との協働によりキャンパス緑地において ESD（持続可能な開発のための教育）/SDG s（持続可能な開発目標）の実践を企図した野外図書館企画「Blue Class」を開催しました。これは全国的にも類を見ない取組です。



野外図書館「BlueClass」

④ 附属学校に関する計画（年度計画 43）

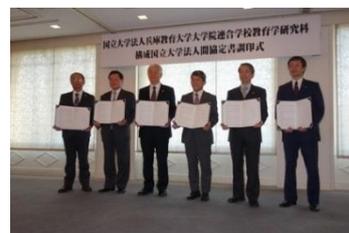
大学教員と附属学校園教員で構成した研究チームが①ICT 等支援機器を使用した合理的配慮の研究や②不登校により学校生活に支障をきたしている発達障害の可能性のある児童生徒に対する合理的配慮に関する研究を行い、令和元年度も引き続き文部科学省の合理的配慮研究事業の採択を受けました。



附属中の授業

⑤ 博士課程の教育研究組織の見直しに関する計画（年度計画 51）

教育実践学に関する研究者養成の我が国における拠点形成を視野に入れて連合学校教育学研究科を拡充し、構成大学に岐阜大学、滋賀大学が新たに加わり、入学定員も 32 人から 36 人に増えました。教育実践学の更なる発展が期待されます。



調印式

⑥ 女性の活躍・男女共同参画に関する計画（年度計画 54）

育児・介護支援制度改善や、周知方法の改善に取り組みました。また、就職希望者への説明会において女性教職員による説明を実施する等の工夫を行い、女性教職員の採用比率が目標としていた 30%を大きく上回り 46.2%となりました。



就職希望者への説明会